



# 皆様の支援が赤十字を支えています

赤十字の財源は、皆様から寄せられる**社資(事業資金)**によって、**いのちと健康、尊厳を守る人道的活動**を行っています。



## 防災へ関心が高まるなか各地で防災プログラムを実施!

日赤大分県支部では、県民の防災知識を普及するため、啓発事業を行っています。なかでも、10～20代の若年層の方を対象としたプログラムや、幼稚園や学校等の授業の一環として行うプログラム等を実施しています。多くのプログラムがありますが、一番盛り上がるのは、非常炊き出しです。「ハイゼックス」という特殊なビニールを用いて、お米を炊く過程を実践し、その後、カレーにいただきます。「家で普段食べているご飯と変わらない!」「こんな炊き方があるなんて初めて知った!」等のお声をいただいています。他にも非常持ち出し品について考えたり、ロープを使った技法等を学習したり・・・あなたの職場や学校に日赤職員を呼んでみませんか?



保育所で防災プログラム



非常炊き出し体験



## 役に立つ知識! あなたも受講しませんか? 赤十字社では、“いざ”というときに助けになる講習普及事業を行っています。

講習の種類	内容
救急法	日常生活における事故防止、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去)、きずや骨折時等の止血方法や手当の仕方、搬送、災害時の心得などの知識と技術を習得できます。
水上安全法	水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。
幼児安全法	乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、乳児の一次救命処置、乳幼児期にかかりやすい病気と看病のしかたなどの知識と技術を習得できます。
健康生活支援講習	高齢期を、すこやかに過ごすために必要な健康増進や介護予防などの知識、高齢者に多い事故の予防と手当、高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を習得できます。

他にも職場や学校、公共施設に出向いて実施する短時間プログラムもあります。防災や救急法を融合させたプログラムもご希望に沿ってお応えします!

詳細はお電話にてお問い合わせ下さい。  
**事業推進課 TEL 097-534-2237**



ホームページはこちら▶



救急法講習  
(三角巾を使った手当の方法)



健康生活支援講習  
(ベッドメイキングや介助技法)

# 平成28年熊本地震

## — 日赤大分県支部 わたしたちの活動 —

### 熊本県での救護活動

発災直後の4月15日AM1:00に出動した日赤大分県支部救護班第1班の様子。



### 救護班 派遣班数

熊本県: 3班  
由布市: 6班  
合計: 9班  
派遣人数  
延べ**58人**

### 由布市避難所 (湯布院B&G海洋センター)

本震後の4月17日～22日の6日間、避難者が増える夕方～夜にかけて救護班を派遣。



エコノミークラス症候群の予防策をレクチャーする医師



益城町総合体育館に設置された救護所での活動 (4月15日 PM9:00)

ありがとう



日赤福井県支部より  
応援メッセージを集めた  
フラッグが寄せられました。



### 救援物資

### 救援物資

4月15日 AM4:00  
救援物資を積み込み、  
日赤熊本県支部へ出動。その後、県内各地  
(由布市、別府市等)  
にも配布。

▶ボランティアの協力を得て  
物資搬送準備

### 物資配布数

毛布	3,000 枚	緊急セット	666 個
安眠セット	355 個	ブルーシート	589 枚
バスタオル	500 枚	タオル	500 枚

※ 緊急セット…携帯ラジオ、懐中電灯、風呂敷など

※ 安眠セット…キャンピングマット、枕、アイマスク、耳栓、スリッパ、靴下など



校内での募金による義援金受け渡し式

### 義援金

8月22日までの受付状況

**626件 69,253,349円**

赤十字社で受け付けた義援金は、県に設置された義援金配分委員会を通じて全額被災者へお届けします。

## 赤十字の義援金と社資(活動資金)の違いって?

義援金…………… 全額被災者へお届けするもの。  
社資(活動資金) …… 災害に備え、救援物資を整備したり、訓練を行ったり、また、青少年のボランティアの心を育むための取り組みを行ったり、様々な赤十字事業にかかる活動費。